

会員のみなさんの希望での取り組みをとりあげます

— 編集部取材要請のお便りをください —

昨年十二月、第六二号発刊以後、県都新潟市では当

研究所の会員の方々がかわっておられるところが主催してのたくさんの研究会やシンポジウムがひらかれています。ある会員の方からそれらの会員のみなさんたちの取り組みも誌上でとりあげて、相互に交流したら良いのではないか「みんながいろんなところで奮闘しているのだな」という連帯のころも大切だと思ふというお便りをいただいたのです。

とりあえず新潟県の教育にかかわるものをとそのいくつかをとりあげてみました。県都で開催されたものです。取材とその整理が間に合わず次号に報告をさせていたかどうかと思っておりますのは、新潟県の異水爆禁止協議会などのささえもあって実現したこの夏、新潟市の新潟教会を会場にひらかれた八月六日の宗教者の平和集会や十月二八日のシンポジウム「国立大学独立行政法人化で教員養成が危ないー日本の教育の未来と

教員養成を考えるー」です。

県下各地ではもっと多くの集会在毎年開かれているのではないかと思っております。研究所所員の数名のスタッフの手の及ぶ範囲は限られています。会員のみなさんからは非一報いただいたり取材に入る窓口を広げて行きたいとねがっています。

子どもたちの心を耕す文化的な活動、集まりも大歓迎です。地域のさまざまに子どもたちと参加された様子などもお聞かせ下さい。

できましたら写真などを同封頂いて、集会案内、集会のまとめなどを送って下さるとたすかります。こちらで取材の準備ができます。

子どもたちのしあわせを願っての無数の活動の積み重ねがあって、それが子どもを守る運動に発展し、その運動が子どもをみんな育てようの世論づくりの原動力になるのだと強く思います。